



四月十九日にホーム喫茶が開催されました。天気も良く暖かな陽気の中、外に出ることが少ない入所者の方も、おやつなど召し上がりながら春の風を直接肌で感じ、「気持ちいいね。」「海がきれいだな。」と、満喫されていました。ご家族の参加もあり、のんびりと過ごされた方もおられ、和やかな雰囲気の中、気分転換にもなり、好評のうちに終わることができました。

ホーム喫茶



今年のバスハイクは各階で開催されました。二階は、五月十四日月曜日に参加者三十二名と職員十三名で津島の南楽園に、宇和島自動のバスを利用して出掛けました。皆さんの普段には見られない生き生きとした表情に驚かされました。

バスハイク

一階は、五月二十一日月曜日に須の川へ出かける予定でしたが、朝からあいにくの雨模様で、日頃外に出る機会も少ないので、皆さんが大変楽しみにしていたこともあり、中止とせざるに須の川までドライブに出掛けました。参加者二十七名と職員七名で、車中での会話が弾み楽しい半日でした。
今回参加されました皆さん、ご家族の方々、そして職員の皆さんお疲れ様でした。今後も、外出される機会を多く設けていきたいと思っております。その際は、ご協力をよろしくお願いたします。



ふれあいの発進



施設理事あいさつ



施設理事 伊藤 孝徳

災いは忘れた頃に

当施設の設立の時に、医師会理事全員の連帯保証が必要で、連帯保証する以上は「口を出さずぞ！」ということ、厚かましくも、出入りさせてもらっている。かと言って、私の専門分野は、施設長もおられて、私はほとんど必要なく、自分で「何かできることは？」と捜したのが、災害対策の仕事。これに波及して施設・設備に関する事に関わって来た。災害対策としては、ライフラインの確認を行い、「水」に関しては、風呂を使わなければ、上の貯水槽の水で2、3日はもつ（福本君の計算では）し、貯水槽が壊れても、約500リットルの飲料水は、ポリタンク（約3年間飲料水を保存できる優れ者）で常備しているし、食べ物も、缶詰パン（レンジパンでおいしい）は150食分、カップラーメン（十年間保存が利く）を150食部分、ストックしてあり、これでスタッフを含めて2食分はあるはずである。3食目からは、給食を外注しているシンセイフードサービスが、近隣の施設で調理したものを運んでくれることになっている。

電気に関しては、2300ワットの発電器を4台と照明器具と延長コード多数を購入している。

丁度、これらのシミュレーションとなったのが、2000年問題で、ライフラインの点検の機会となり、ついで芸予地震では、NTTの電話回線が、有線も無線もダウンしたことがきっかけとなり、当施設も含めた、郡内の災害時救急対策上の電話連絡体制の確保が進行しつつある。
と、雑多な仕事をしているが、すべて各部署のスタッフのお手伝いあればこそである。特に事務の福本君、吉村君は、私の手足となつてもらっている。ここにお礼を申し上げる。最後に全職員にお願いしたいのが停電時マニュアルの熟知である。停電になつてすぐダウンするのが必需品の中ではナースコール・酸素発生器・吸引機・電気施設はすべて「開」となり停止する。停電は夜勤者だけの時でも起きる。夜勤者4人で、すぐに発電器を起動させ、ナースコールの電源をつなぎかえ、O2を投与している人には酸素発生器の電源を確保する作業を絶対に出来ねばならない。そして約一時間で照明のバッテリーもなくなるので、真暗闇になる。が、その頃には事務の福本君・吉村君が駆け付けてその後の電源の確保はしてくるはずである。（感謝！感謝！）とにかく「夜勤の時に停電になったら？」と一度考え、その対応マニュアルを熟知せよ。私が昇進昇格判定するなら試験問題は停電時マニュアルである。